

三浦市立岬陽小学校

研究テーマ：「自分らしく いきいきと」

1 実践の目的

岬陽小学校の学校教育目標は「自分らしくいきいきと」である。本目標には、誰もがもつ良さを自覚し、自信をもって力を発揮することを「自分らしさ」とし、そのなかで幸せを感じ、いきいきと生きる子になってほしいという願いが込められている。

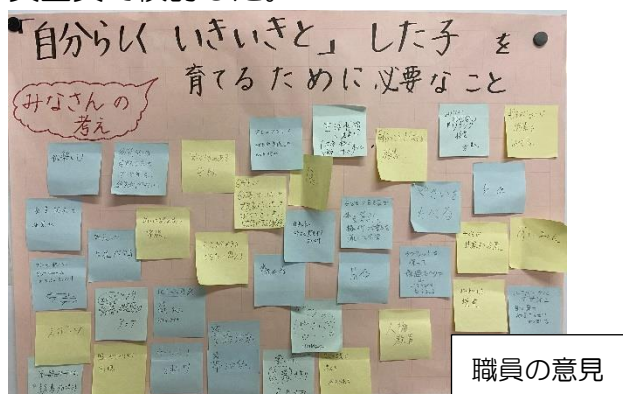
学校教育目標が表す児童の具体的な姿について校内で話し合う時間を十分に確保し、「学力・授業づくり」「学習環境」「合理的配慮」の3つの視点で校内研究を進めていった。また、研究を進めるにあたり、目指す子ども像が達成されているかについて、校内でくり返し共通理解を図ることで、職員全体でチームとして子どもたちを育てていこうとする意識を醸成できるようにした。

2 実践の内容

(1) 目指す子ども像の共有

研究の軸は「自分らしく いきいきと」

本研究を進めるにあたって、「自分らしくいきいきと」が表す具体的な姿を教員間で共通理解を図りながら、具体的な取組を職員全員で検討した。



(2) 研究の柱

① チームで取り組む研究

「自分らしくいきいきと」の実現に向けて、「学力・授業づくり」「学習環境」「合理的配慮」の3つのグループで研究を進めていった。グループごとに「目指す子ども像に向けて何ができるか」について課題を作り、研究の内容と方法を検討した。

② 研究のあり方

これまでの校内研究のあり方にとらわれず、実践を通して子どもの変容を見取り、「子どもの実態」や「学び」に変化があったかを振り返ることで、子どもが主体の実践を行うようにした。

③ 基礎学力の育成と主体的で深い学びの実装に向けた取組

学力調査の結果から、本校のすべての学年において、読解力に課題を抱えている児童が多く、学習活動に困難さを感じていることが分かった。学校での学習が、すべての児童にとってより深い学びになるよう、多様な実態の児童に向けて、読みの流暢性を育てることをねらいとした「多層指導モデル MIM」を校内で活用することにした。また、「多層指導モデル MIM」の活用を通して、すべての児童がともに学べる学級や授業づくり、必要な児童が必要なときに適切な指導や支援を受けられる体制づくりにも学校全体で取り組んでいった。

④ 講師を招聘しての研修会の実施

神奈川県教育委員会の佐藤隆太郎指導主事、福島県磐梯町教育委員会の外館ゆき子

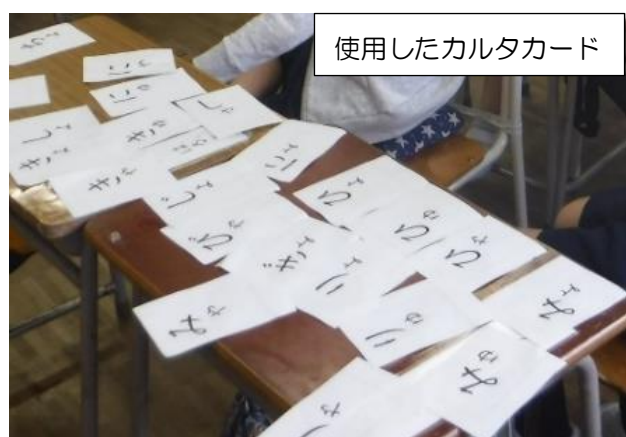
氏、国立特別支援教育総合研究所の玉木宗久氏を講師として招聘し、「多層指導モデル MIM とは」や、「通常の学級における多層指導のあり方」、「多様な子どもたちを包摂する柔軟な教育課程の創造」をテーマに研修会を実施した。研修を通して、すべての子どもを取りこぼさないためのアセスメントの活用や日々の授業改善、また、それらを可能にするための校内体制づくりの大切さを学んだ。

3 実践の成果と課題

朝学習や国語の時間を使い、「多層指導モデル MIM」を用いた日々の指導と、月1回のアセスメントを実施した。



カルタを用いた拗音の指導



使用したカルタカード

1～3年生では、玉木先生にご指導をいただきながらアセスメント結果をもとに、個別の配慮計画を作成した。読みにつまずく児童が、どの音節（清音、促音、長音、拗

音、拗長音）を苦手としているかを見取り、日々の授業改善に活用した。

また、1年生と3年生で「多層指導モデル MIM」の理念を用いた研究授業を実施した。授業では、特に学習活動において配慮を必要とする児童層をターゲットにした授業づくりを行い、通常の学級に在籍するすべての児童が、教室でいきいきと学びに参画できるような授業づくりを行った。その後の研修会では、「多層指導モデル MIM のステージごとの指導法」について佐藤指導主事より講話をいただき、多層指導モデル MIM の理念を校内に共有し、教室内支援の重要性を意識づけることができた。

4 今後の展開

今年度の研究を通して、学校全体で「自分らしくいきいきと」が表す子どもの具体像について共通理解を図ることで、チームとして子どもたちを育てていこうとする意識が醸成された。また、学校教育目標の実現に向けて、3つのグループがそれぞれの視点から、すべての子どもがいきいきと学びに参画するための取組を実践したことで、今後、主体的で深い学びを実装していく上で必要な学習の土台づくりを行うことができた。今後は養った土台を活かし、「多層指導モデル MIM」の理念を他教科の指導にも応用させ、通常の学級で学ぶすべての児童が、いきいきと学習に参画できるような授業づくりに努めていきたい。

また、その実現に向けて、すべての児童がともに学べる学級づくり、必要な児童が必要なときに適切な支援、指導を受けられる体制づくりにも学校全体で取り組んでいく必要があると考える。